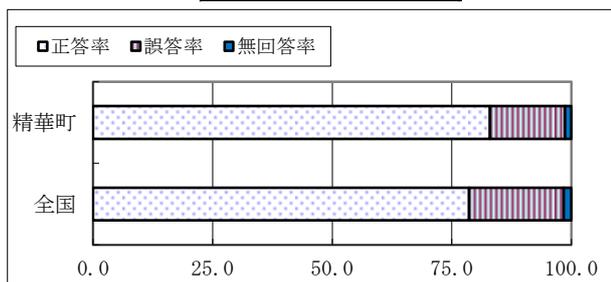


小学校算数科

平均正答率の比較

A問題



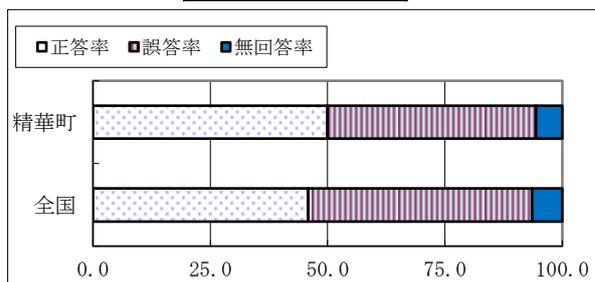
■国の状況

正答率は約78%であり、相当数の児童が今回出題された学習内容を概ね理解しています。

■精華町の状況

正答率が80%を超え、全国との比較においても良好な結果であり、多くの児童が学習内容を理解しています。

B問題



■国の状況

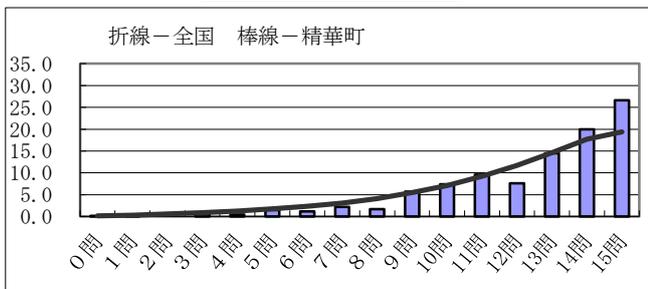
正答率は約45%であり、知識や技能を活用する力に課題があります。

■精華町の状況

全国とほぼ同じ傾向で全体的には「活用の力」において、課題が見られます。

正答数の分布比

A問題



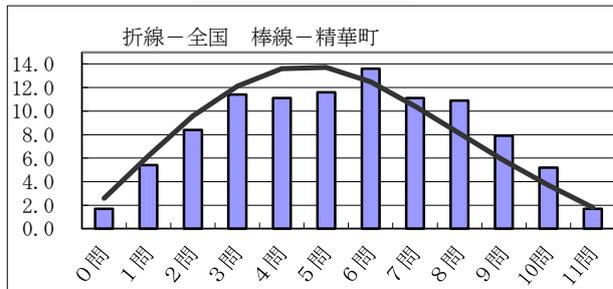
■国の状況

正答数は全体的に右肩上がりに分布しています。

■精華町の状況

全国との関係において概ね良好な結果であり、上位層の分布が高い傾向にあります。

B問題



■国の状況

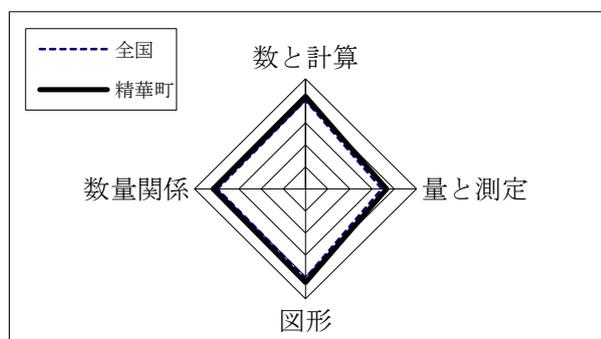
正答数は4問、5問をピークとする山型に分布しています。

■精華町の状況

2つの山があり、分布のバラつきが見られます。下位層に課題が残ります。

領域・視点の比較

A問題



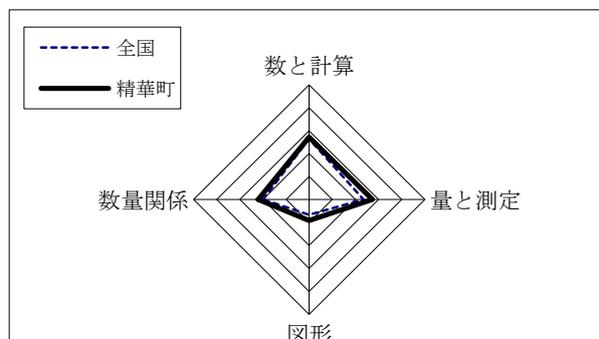
■国の状況

数量関係にやや課題が見られますが、概ね、基礎基本がバランスよく習得できています。

■精華町の状況

全国と比較して、外側に分布しており、基礎基本が良好な状態で、バランスよく習得できていると言えます。

B問題



■国の状況

活用問題においては、図形の問題で得点率が低く、課題が残ります。

■精華町の状況

全国平均と同様の傾向で、図形の問題で課題が残ります。